



# CAGLIERO 11

カリエロ



157 2022年1月

## サレジオ会宣教ニュース

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



### 兄弟、姉妹、友人の皆さん、

新年2022年の戸口にたち、皆さんに心からごあいさつをおくります。

ドン・ボスコが聖フランシスコ・サレジオの大きな影響を受けたことを私たちは知っています。その帰天から400年たつ今年、私たちは特別に聖フランシスコ・サレジオを祝います。ドン・ボスコにとって最も大きなインスピレーションとなったのは何だったのでしょうか。まず、聖フランシスコがまことの牧者、そして愛徳の師であったということです。また、常に靈魂の救いのために働く勇気ある宣教者、疲れを知らない福音の担い手であったことでもあります。

私たちは皆、キリストのあがないの使命によってもたらされた救いの大なる賜物を、喜んで迎えるよう招かれています。そして私たちは皆、ドン・ボスコの教育的使命に参加しています。それは世界中で、多様な形で行われています。私たちのすばらしい修道会が名前を頂いたサヴォワの聖人の愛と創造力から、今再びインスピレーションを汲みましょう。

■ 総長

アンヘル・フェルナンデス・アルティメ神父, SDB

## カリエロ11の各号が生まれるまで

カリエロ11の各号の陰には、その制作に貢献する一団の人々がいます。私たちがたどる9つの過程と、この宣教ニュースの制作に携わる人々を紹介したいと思います。

1. テーマー「カリエロ11」の年間テーマの選定
2. 各号ー各号のテーマと内容
3. 寄稿ーさまざまな執筆者による寄稿
4. 記事ー各号のために執筆された記事を集める
5. 校正ー“基礎”となるイタリア語テキストの校正
6. 翻訳ー英語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語への翻訳
7. デザインーグラフィック・デザイン、レイアウトの仕上げ
8. 転送ーその他の言語版の制作のため、テキストの転送
9. 配信ー必要に従い、さまざまな言語版の配信

カリエロ11の各号の制作は、年間を通してのテーマの選定から始まります。特定の月のテーマは、教皇のその月の祈りの意向に応じて選ばれます。祈りの意向は2ページ目のいちばん下、あるいは大きく取った枠の中に表示されます。パリのDBIEMセンターと協力して制作されるカリエロLIFEの動画も同じ祈りの意向のテーマを取り上げます。

総本部の宣教部門はカリエロ11を5か国語で制作しますが、さまざまな管区で少なくともほか15か国語の版が作られています(アラビア語、アッサム語、インドネシア語、ブルガリア語、チェコ語、中国語、クロアチア語、ハンガリー語、ポーランド語、スロバキア語、テトウン語、タイ語、ウクライナ語、ベトナム語、日本語)。

## チーム・カリエロ11



制作、内容  
パヴェウ・ジェニェク神父,  
SDB  
ローマ本部



イタリア語校正、入稿  
マルコ・フルガロ  
ローマ本部



グラフィック・デザイン、  
レイアウト  
マルティナ・モンチエーヴァ  
チェコ、プラハ



英語翻訳  
ジョージ・メナムバランビル神父,  
SDB  
ローマ本部



スペイン語翻訳  
チュチ・ガルシア=サントス,  
SDB  
スペイン、マドリッド



フランス語翻訳  
ルネ・スゲルSC, FMA同窓生  
ベルギー、ワール  
ルネ・ダシーSC  
ローマ本部



ポルトガル語翻訳  
ヒラリオ・パッセーロ神父,  
SDB  
ローマ本部

カリエロLIFEのビデオはSettore per le missioni salesianeチャンネルで視聴できます。

Cagliero 11 (カリエロ11)の全バックナンバー : <http://salesians.jp/library/cariero>

# 聖人、ハンガリーの聖ステファノの子である誇り



デロッシ、あなたは最初の宣教師の一人としてハンガリーに12年暮らしています。海外からの宣教師の存在によって、これまで管区はどのように変わりましたか？

私は現在、ハンガリーで13歳です。3番目の宣教師グループの一員です。私たちは宣教師として、修道生活の価値をもってこの管区を刷新してきました；特に、さまざまな国、文化、伝統の出身でありながら、ドン・ボスコの精神において一致する兄弟として、共に暮らし働くためです。こうして私の管区は、多様性に富むようになり、開かれた姿勢を成長させました。宣教師たちは、管区の統治と活性化において質的に貢献しています。管区のレベルで、また共同体で、さまざまな部門の指導的な役割を担っています。

ハンガリー人の性格のどの点を最も評価しますか？

ハンガリー人の愛国心を尊敬します。ハンガリー人は自らの文化や伝統に忠実です。若者も、自分たちの歴史をとっても誇りに思っています。ハンガリーの人々にとって特別で、心に大切に抱いているのは、8月20日のハンガリー最初の王の祝日です。国を創始した、ハンガリーの聖ステファノです。国と教会が一緒になって聖なる王を祝うのを見るとき、私はとても感動します。

今回のカリエロ11のテーマは人間性の向上、人々の絆、関係の促進です。このような姿勢を実現する上で最大の障害や挑戦となるものは何だと思いますか？

私は政府の取り組みに深く教えられています。ハンガリーは、迫害されるキリスト者のための省が設けられているのです。「ハンガリーは助けられる」は政府が支援する運動で、まさに人間性の向上、人々の間の絆、関係を促進するものです。私たちハンガリーのサレジオ会はボランティアとしての社会参加によってこれに協力しています。挑戦となるのは、パンデミックによって人々の心に生じた、健康、安全、経済に関わる大きな混乱に、賢明に対応することです。



デロッシ・ラジャ神父、SDB

インド、**タミルナドゥ**のサルガニ、イエズス会宣教師ジャコモ・デロッシによって創立された小教区に生まれる。生まれ故郷で宣教師たちの献身的な姿に感銘を受ける。2001年に初誓願を立て、大学院で**哲学**を学ぶため管区外に送られる。その機会に宣教師としての召命が強められ、「すべての人への宣教mission ad gentes」を志願するに至る。2008年、終生誓願を立てた後、**宣教師としてハンガリーに派遣**される。神学、教育学、要理教育を修了。2014年8月8日に司祭叙階。現在、**副管区長**、ペリフォルゼンケレシュト共同体の院長、サレジオの学校の副校長を務める。この5年間、プロジェクト・ヨーロッパの宣教師、若者ボランティアの活気づけを担ってきた。最近、**管区養成デレガート**に任命された。

## フォーラム



- 「食べ物」は**神の贈りもの**、人々を満し、養い、結びます。
- 「食べ物」は、国によって**さまざま**です。
- 私たちは皆、「食べ物」が**大好き**！

宣教部門は**ボスコ・フード**という新たな取り組みを始めました。この取り組みでは、サレジオ会が存在する世界134か国の料理の豊かさを紹介していきます。

**ボスコ・フード**は、各国の代表的料理を二か国語で紹介する2ページのカードです。今号から2年間の企画で、カリエロ11の各号に4-5枚のカード一週ごとに1枚が添付されます。最終的な目標は、サレジオ初の料理本、『**ボスコ・フードの本**』の出版です。



## 1月 サレジオ 宣教の 祈りの意向

### 人類の真の兄弟愛

ハンガリーで、人間としての兄弟愛が促進され、サレジオ家族の中で良い人間関係が育まれますように。

宗教のための差別や迫害に苦しむすべての人のために祈りましょう。人類家族の兄弟姉妹であることに由来する、人々の権利と尊厳が認められますように。 | 教皇フランシスコの祈りの意向 |

ハンガリーの  
ために

